令和8年度

幼児教育・保育施設
労働条件・職場環境等調査



令和8年10月
佐賀県男女参画・こども局　こども未来課

Ⅰ　基本情報

1　用語の定義

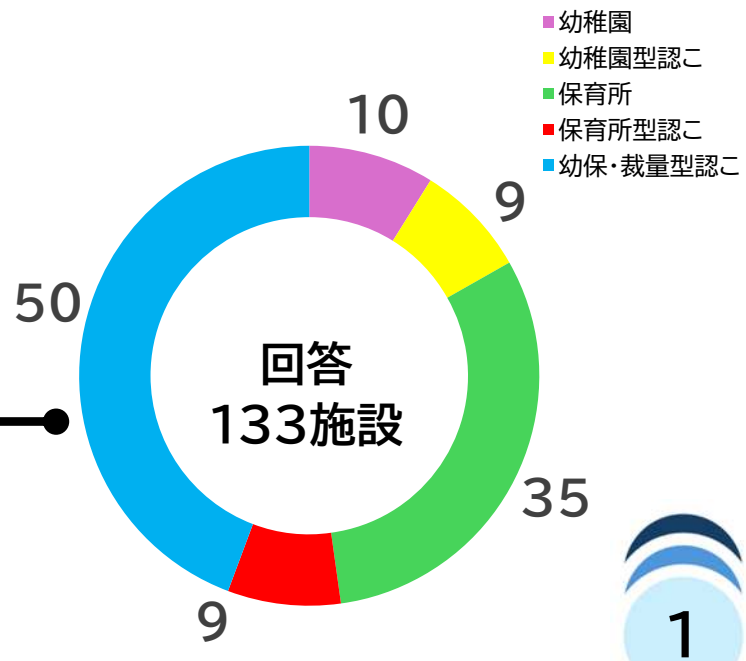
用語	定義
保育者	幼稚園教諭免許や保育士資格を有し、主に幼児教育・保育に従事、クラス担当をしている職員
保育補助者	保育士資格を有さず、保育に関する40 時間以上の実習を受けた者又は、これと同等の知識及び技能があると市町村が認めた者
保育支援者	保育士資格を有さず、施設の消毒・清掃、給食の配膳・後片付け等保育士の負担軽減に資する業務を行う者

2　調査の時期、対象

- 調査時期：令和8年9月
- 調査施設：佐賀県内私立幼稚園・認定こども園・保育所　287施設

3　回答数　133施設（全施設数の46.3%）が回答

施設類型	全施設数	回答数
幼稚園	15	10
幼稚園型認定こども園	16	9
保育所	92	35
保育所型認定こども園	65	29
幼保連携・地方裁量型認定こども園	99	50
合計	287	133

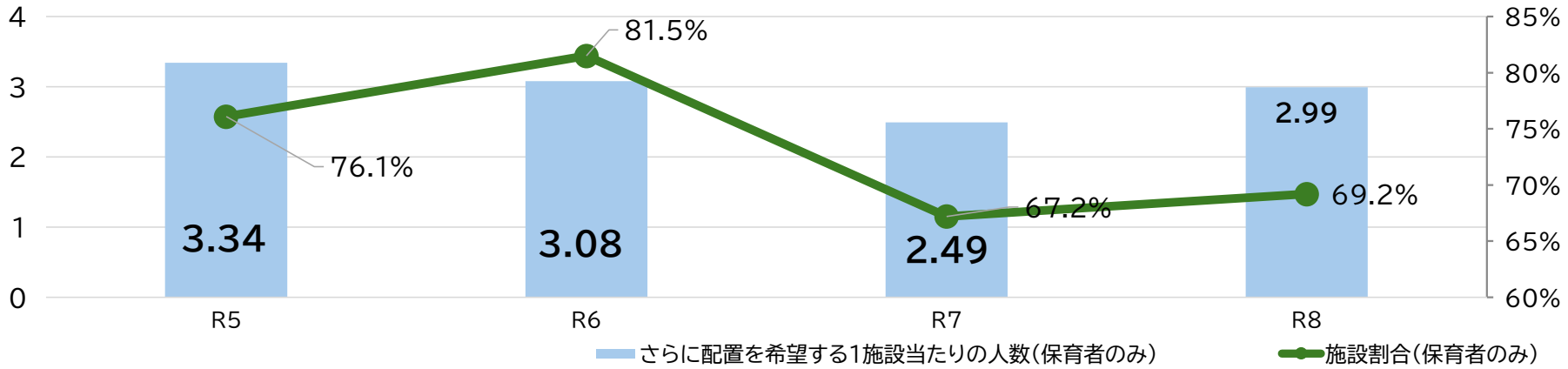


© 2026 Saga Prefecture

Ⅱ　保育者等の配置

1　さらなる職員の配置希望

- 「さらに保育者(のみ)の配置を希望する」と回答した施設数は　92施設(全体の69.2%)
- 保育者の不足感はやや改善傾向にあるものの、依然として約7割の保育施設が不足を感じている



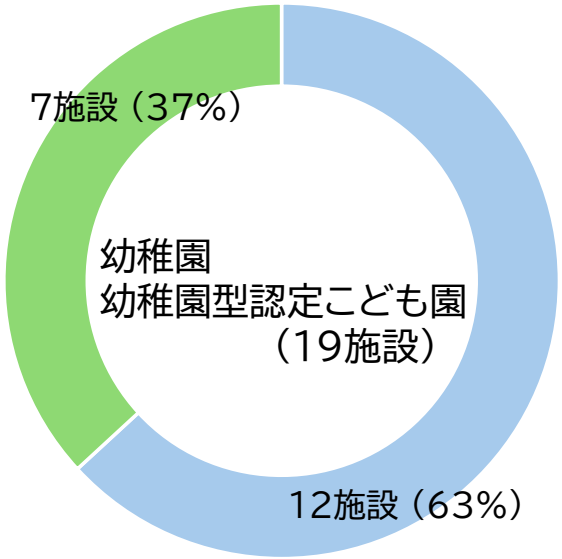
	R5(参考)	R6(参考)	R7(参考)	R8
さらに配置を希望する施設割合(保育者)	76.1%	81.5%	67.2%	69.2%(92施設)
さらに配置を希望する人数(保育者)	3.34人/施設	3.08人/施設	2.49人/施設	2.99人/施設
さらに配置を希望する施設割合(保育者・補助者・支援者)	81.9%	86.2%	72.3%	73.7%(98施設)
さらに配置を希望する人数(保育者・補助者・支援者)	4.52人/施設	4.19人/施設	3.34人/施設	3.95人/施設

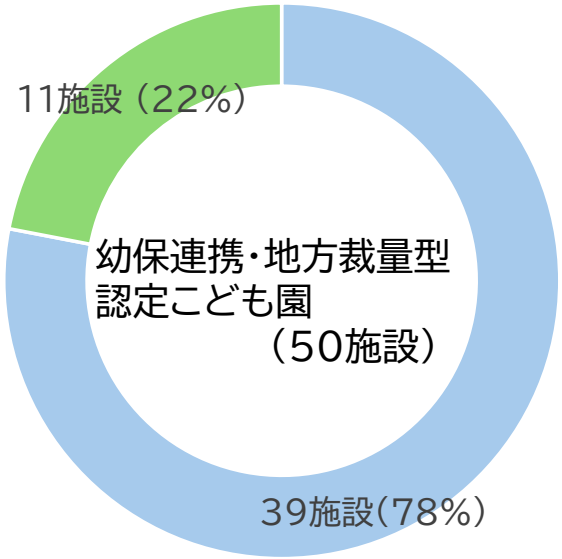
© 2026 Saga Prefecture

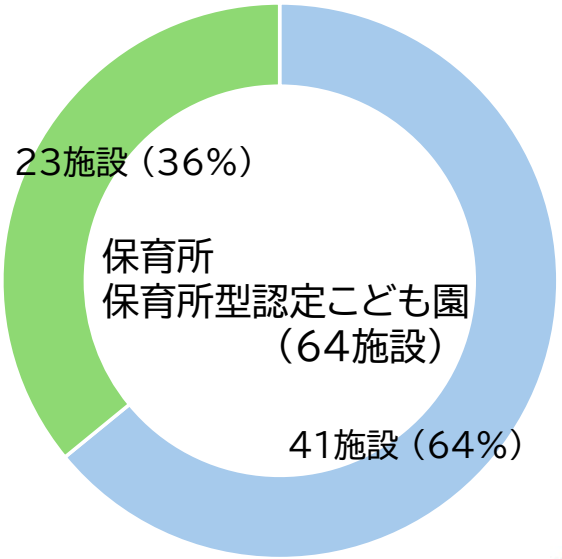
Ⅱ　保育者等の配置

2　さらなる職員の配置希望（保育者のみ）（施設類型別）

- 幼保連携・地方裁量型認定こども園は8割程度、それ以外の類型は6割程度の施設がさらなる保育者の配置を希望している







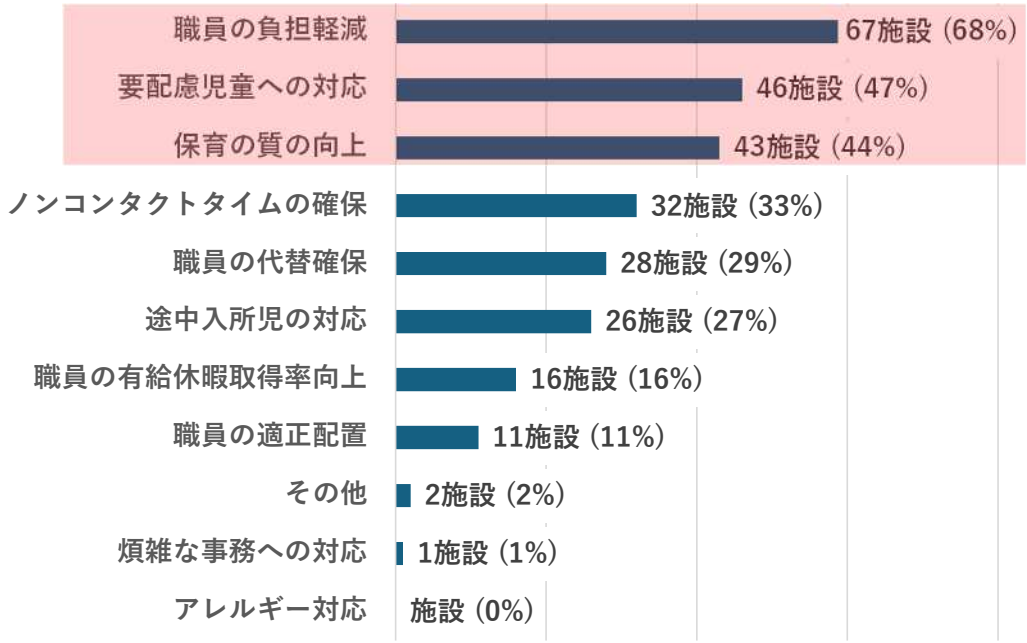
© 2026 Saga Prefecture

Ⅱ　保育者等の配置

3　さらに配置を希望する理由

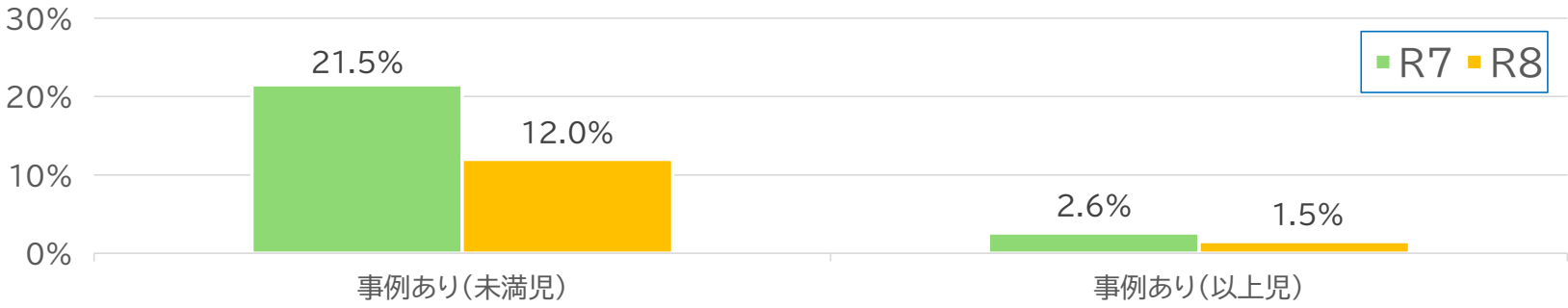
（さらに配置を希望すると回答した98施設のみ対象）

・ 令和4年度以降、上位3項目は変わっていない。
　①職員の負担軽減
　②要配慮児童への対応
　③保育の質の向上



4　保育者不足により園児を受入れできなかった事例

・ R7年度と比較して、保育者不足を理由に園児を受け入れできなかった施設の割合は**低下**した。



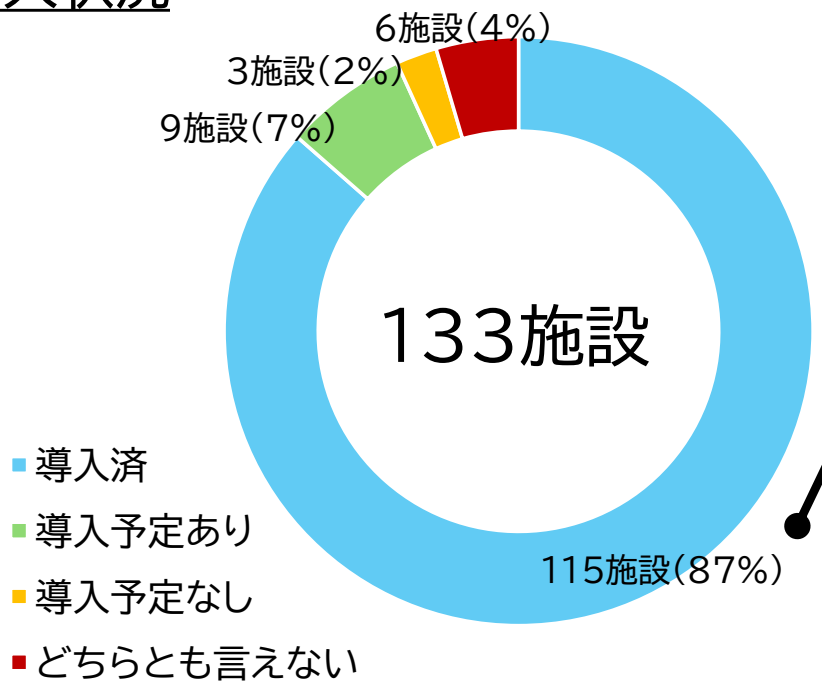
© 2026 Saga Prefecture

Ⅲ　ICTの活用

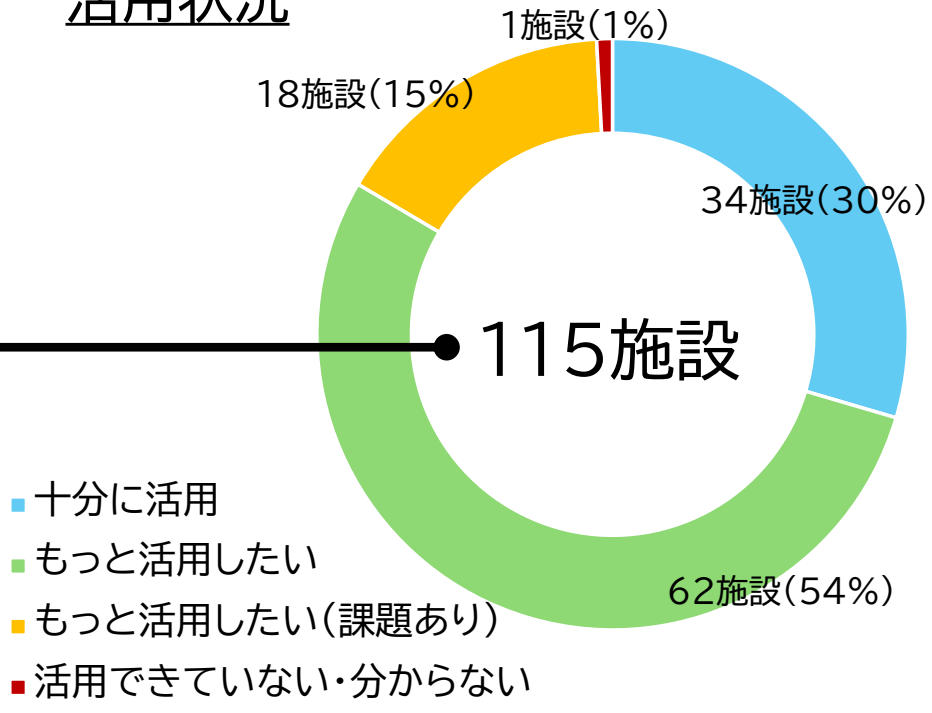
1　ICTシステムの導入・活用状況

- R7年度と比較して、導入済み・導入予定があると回答した施設割合は4．8ポイント上昇した。
- 導入している133施設のうち、80施設（69%）が「もっと活用したい」と感じている

導入状況



活用状況

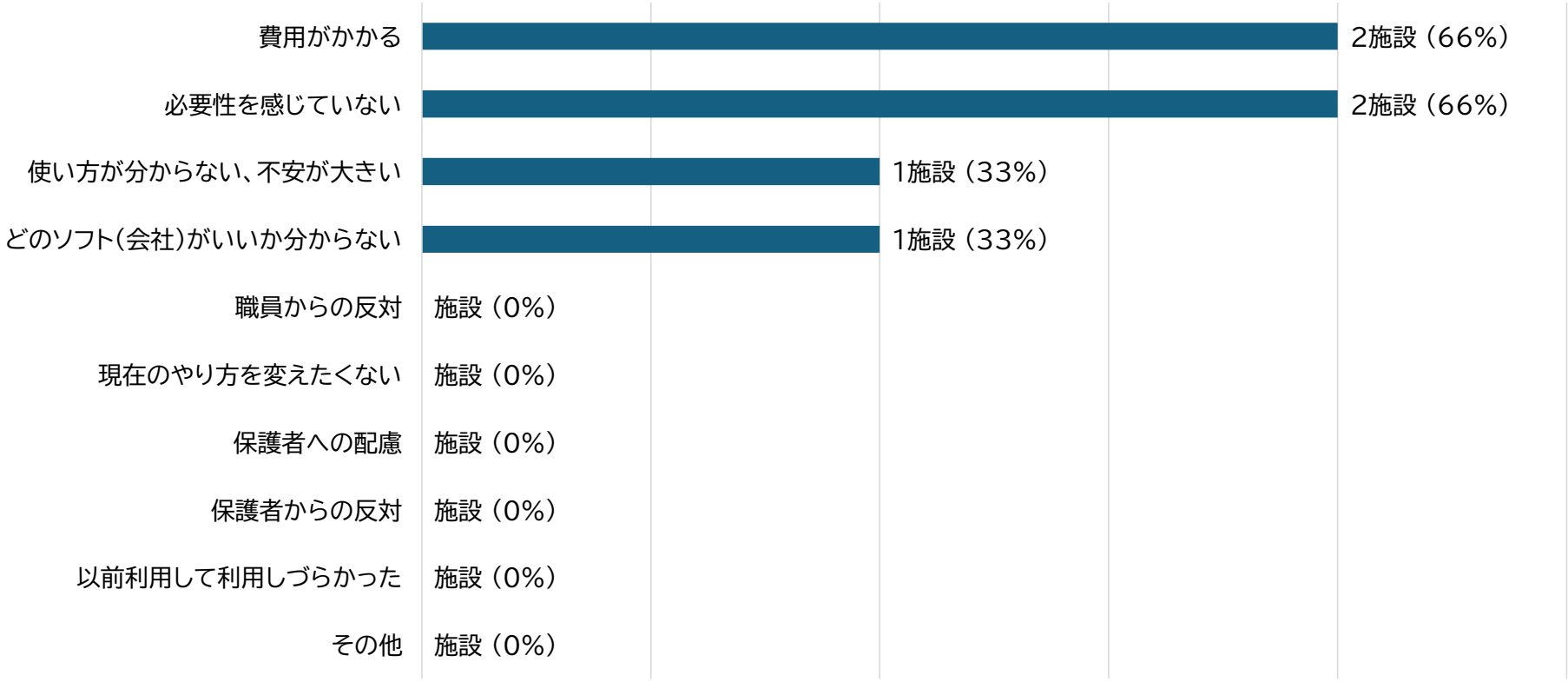


© 2026 Saga Prefecture

Ⅲ　ICTの活用

2　ICTシステムを導入しない理由

- 導入を検討していない3施設のうち、導入しない最も大きい理由は「費用が掛かる」「必要性を感じない」であった。

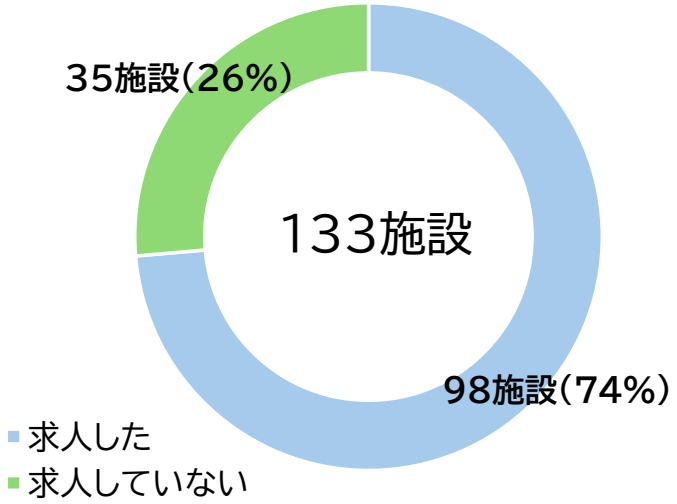


© 2026 Saga Prefecture

Ⅳ　保育者の採用・離職

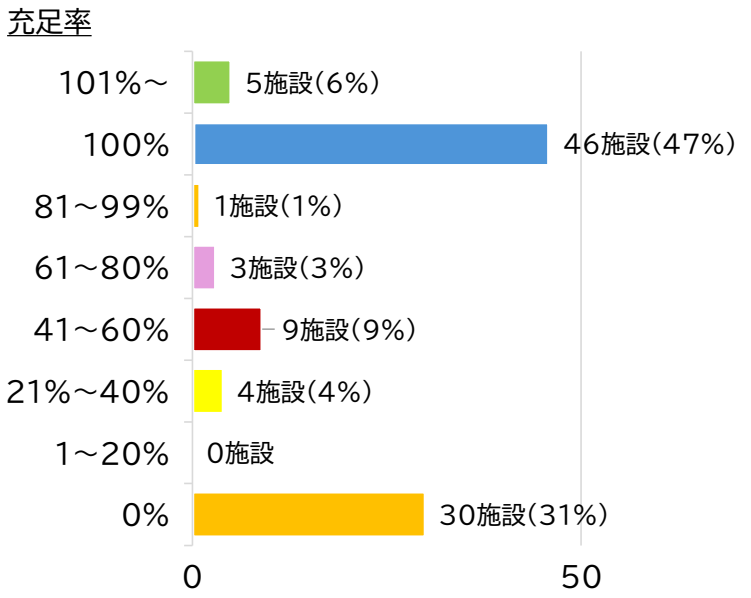
1　令和7年度　保育者採用状況

- R7年度に求人した施設は98施設(74%)であった
- 220人の求人に対して、応募185人、採用154人であり、充足率(求人数に対する採用数)は70.0%であった



	求人数(A)	応募数 (うち新卒)	採用数 (うち新卒)(B)	充足率 (A/B)
R7	220	185(66)	154(49)	70.0%
R6	351	291(120)	265(111)	75.5%

求人した98施設の充足状況

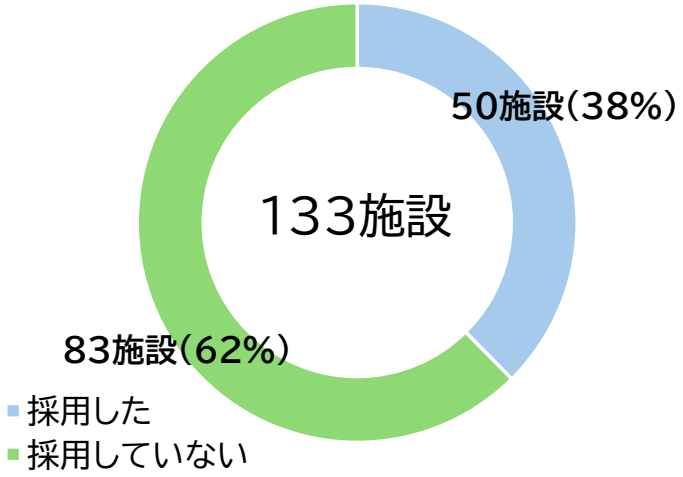


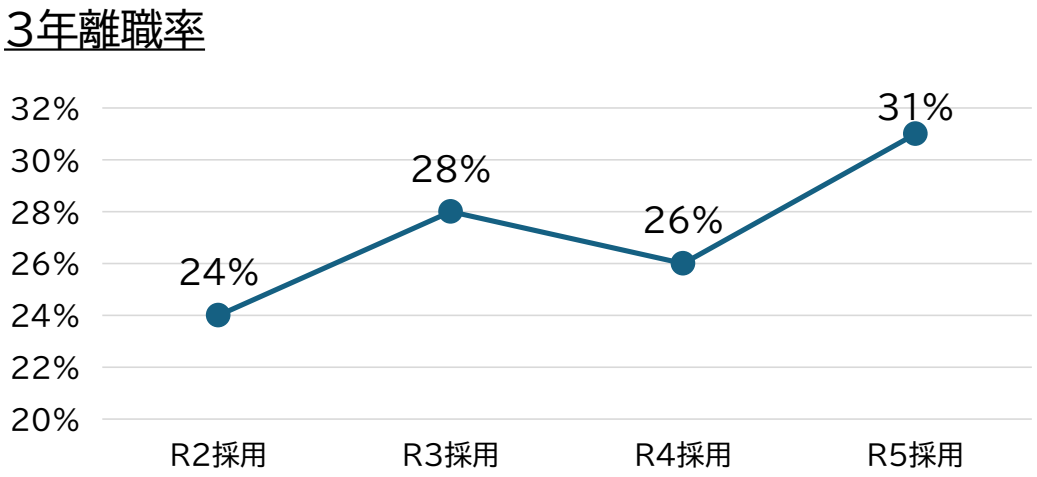
© 2026 Saga Prefecture

Ⅳ　保育者の採用・離職

2　令和5年度に採用した新卒保育者の状況（3年離職率）

- R5年度に新卒保育者を採用した施設は50施設（38%）であった
- 上記新卒保育者の3年離職率（R8年3月までに離職）は31%であり、R2年度採用より7ポイント増加した





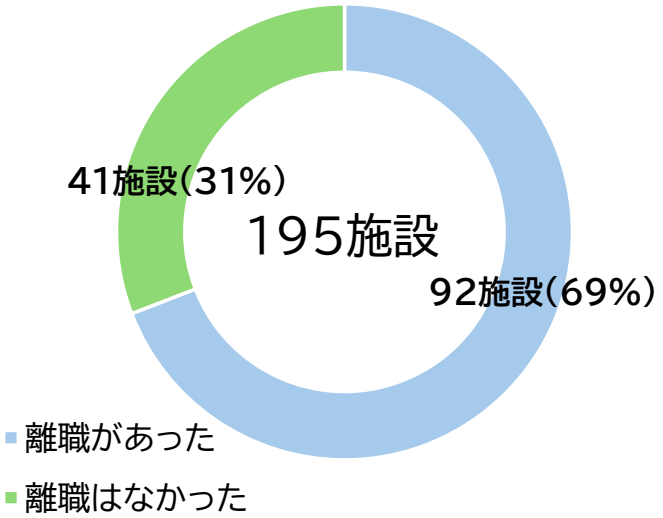
項目	合計（施設）		合計（人）		R8離職率	（参考）R7離職率	（参考）R5離職率
R8年4月1日も勤務	38	（76.0%）	56	（69.1%）	4年継続率69%	4年継続率74%	4年継続率76%
R8年3月末までに離職	10	（20.0%）	13	（16.0%）	3年離職率31%	3年離職率26%	3年離職率24%
R7年3月末までに離職	5	（10.0%）	6	（7.4%）	2年離職率15%	2年離職率16%	2年離職率13%
R6年3月末までに離職	6	（12.0%）	6	（7.4%）	1年離職率7%	1年離職率14%	1年離職率9%

© 2026 Saga Prefecture

Ⅳ　保育者の採用・離職

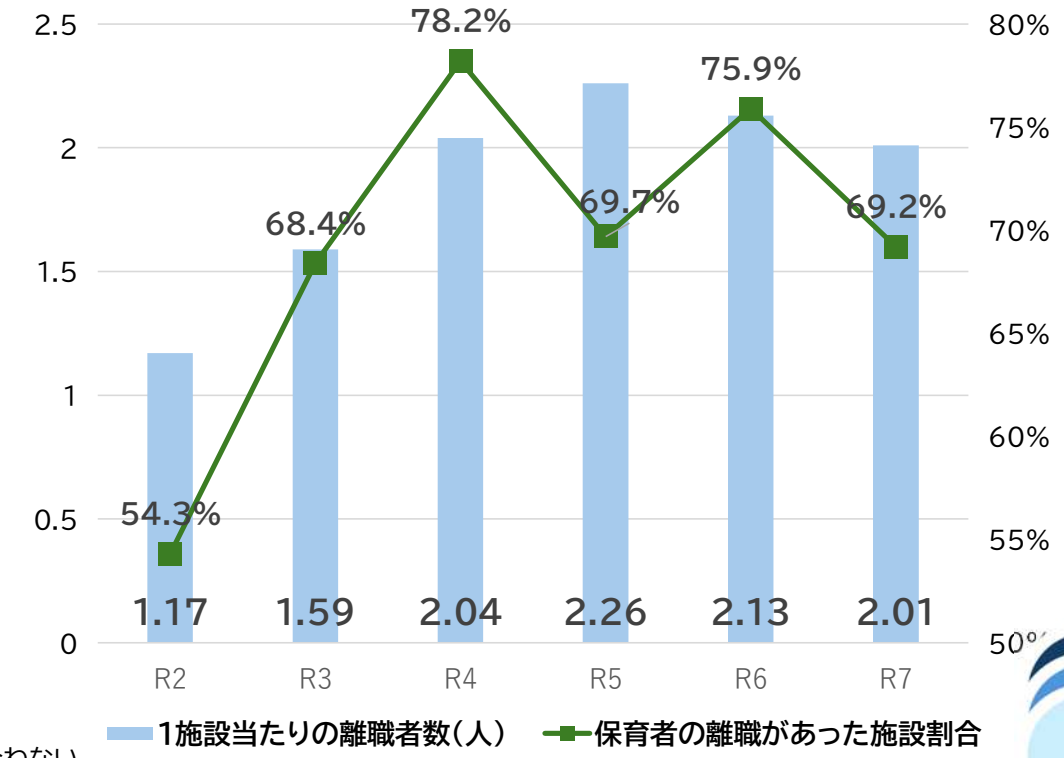
3　令和7年度　保育者離職状況

- 令和7年度に離職があった施設は92施設（69%）であり、昨年度に比べると約7ポイント減少した
- 離職した人数は185人であり、1施設当たりの離職者数は2.01人であった



項目	離職があった施設数	離職した人数
正規職員	61施設(66.3%)	111人
非正規職員	52施設(56.5%)	74人
合計	92施設(※)	185人

(※)正規・非正規いずれも離職ありと回答した施設が21施設あるため、計が合わない。

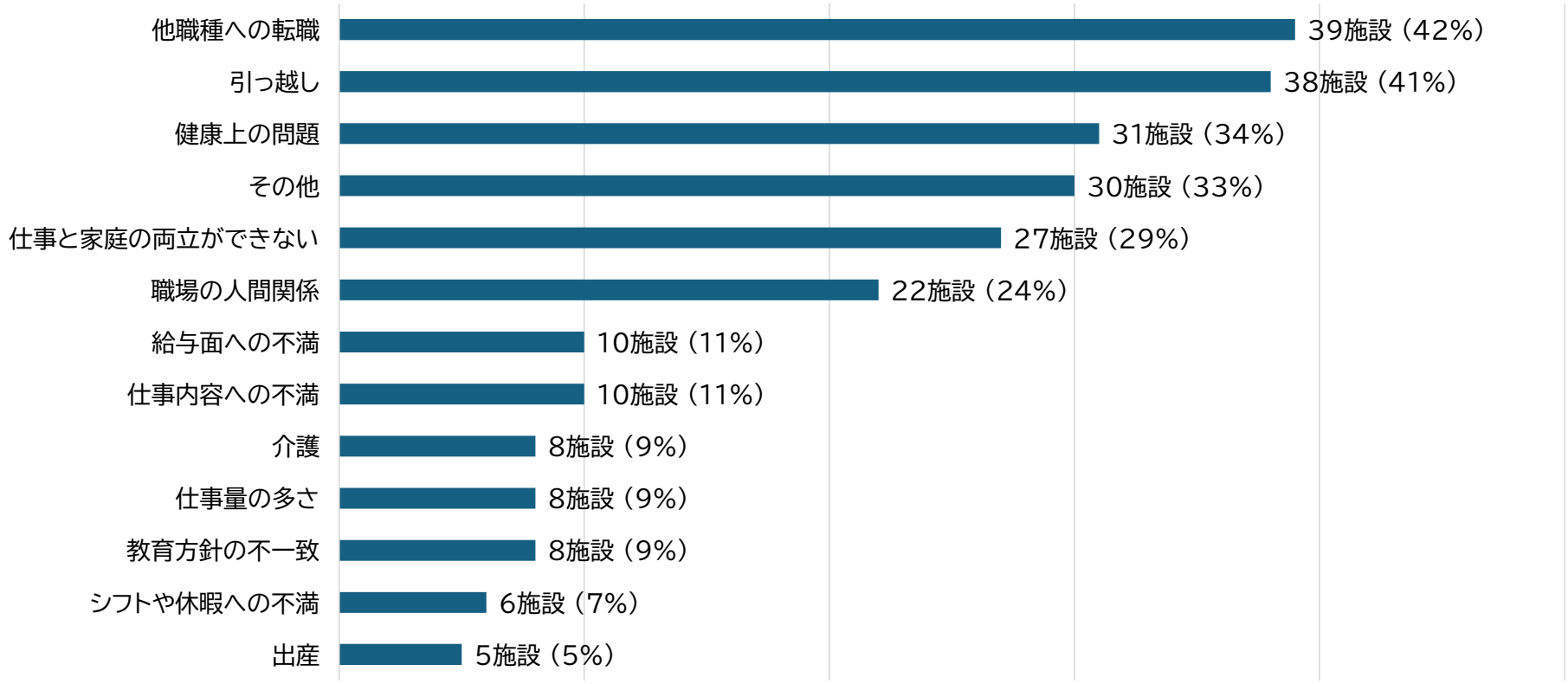


© 2026 Saga Prefecture

Ⅳ　保育者の採用・離職

4　令和7年度　保育者離職理由

- 上位3項目は、回答が多い順に「他職種への転職」、「引っ越し」、「健康上の問題」であった
- 上位3項目は昨年度と同様であった。



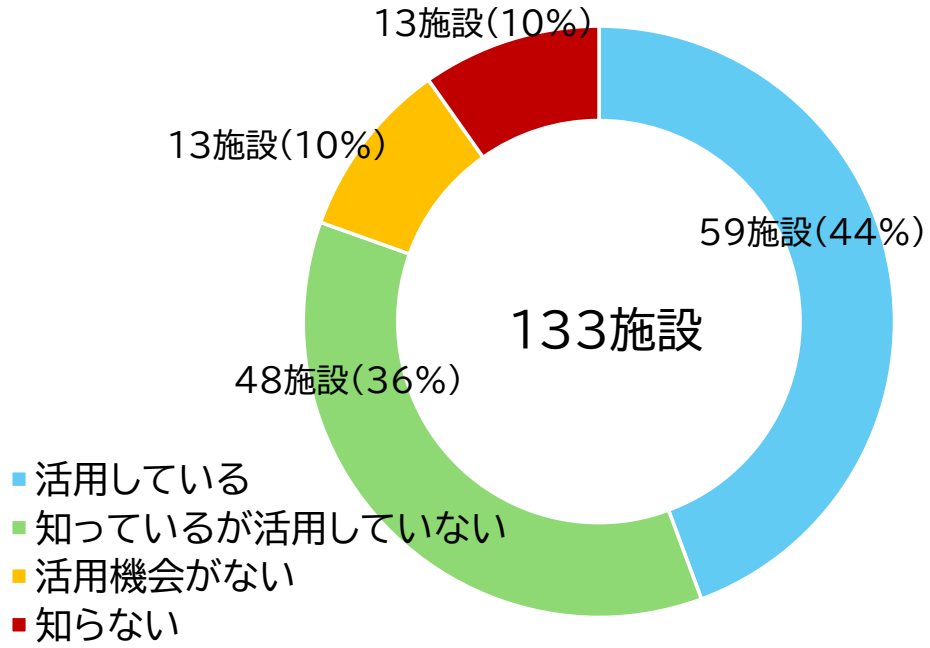
© 2026 Saga Prefecture

Ⅳ　保育者の採用・離職

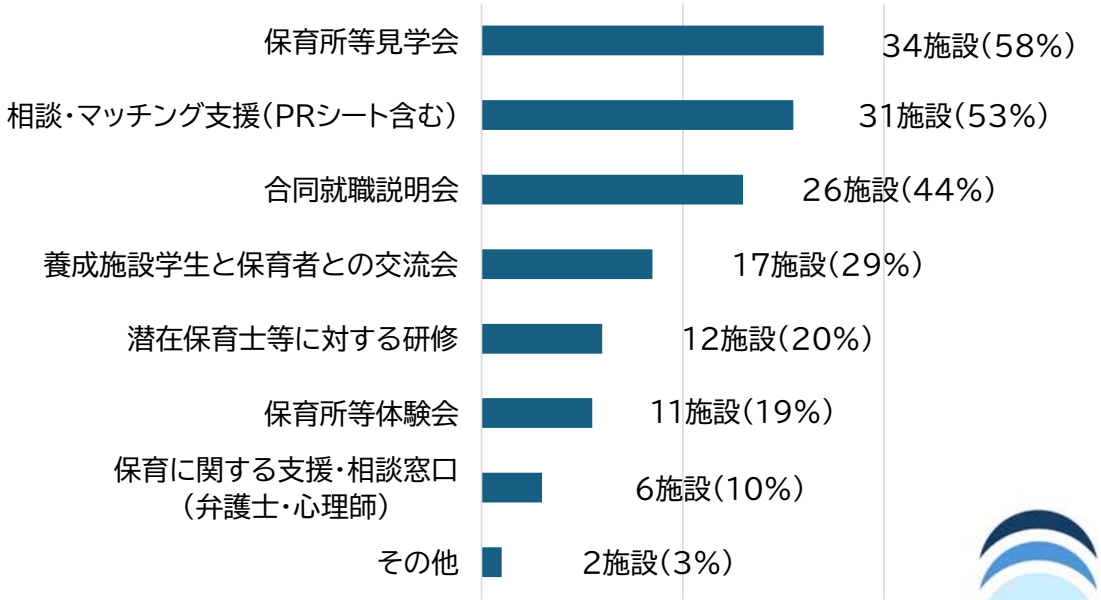
5　保育士・保育所支援センターの認知状況

- 保育士・保育所支援センター（以下「センター」）を「活用している」と回答したのは59施設（44%）
- 「活用している」と回答した59施設を対象に、実施継続を希望する取り組みを尋ねたところ、「保育所等見学会」「相談・マッチング支援」「合同就活説明会」の順で希望度合いが高かった。

センター認知・活用状況



活用している59施設の実施希望事業

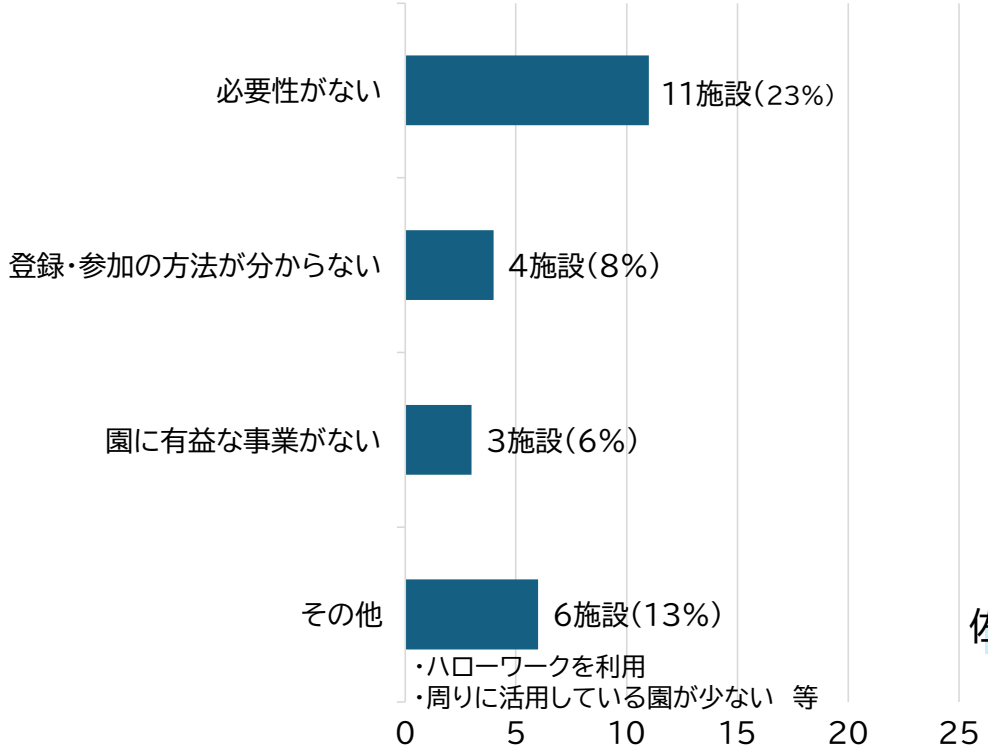


© 2026 Saga Prefecture

Ⅳ　保育者の採用・離職

6　保育士・保育所支援センターを活用しない理由

- 保育士・保育所支援センターを「知っているが、活用していない」と回答したのは48施設（36%）
- 理由として「登録・参加の方法が分からない」「ハローワークを活用している」という回答が多かった。



【参考1】保育士・保育所支援センター登録方法
①佐賀県社会福祉協議会のHPにアクセス、又は来所
②「福祉のお仕事」でネット登録、又は求人票を窓口に提出

検索：佐賀県保育士・保育所支援センター
アドレス：https://www.sagaken-shakyo.or.jp/daycare/
（下記二次元コードからもリンク可能）

【参考2】保育士・保育所支援センターのR7年度実績
①相談者数　　：585件
②求職新規登録者数：88件
③就職者数　　：23人

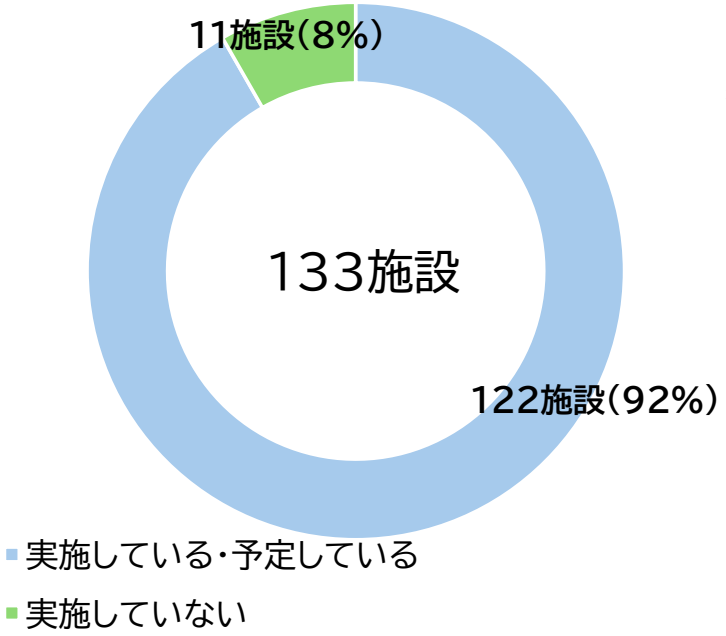
佐賀県保育士・保育所支援センターHP →

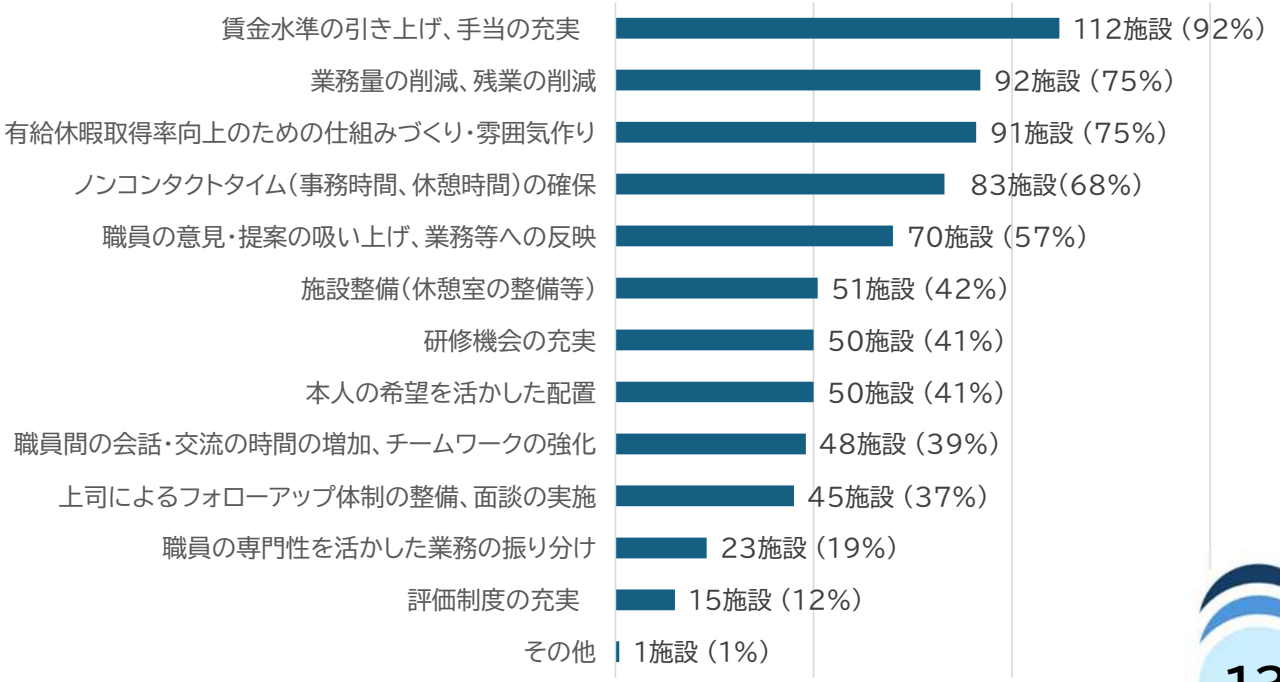
© 2026 Saga Prefecture

Ⅴ　労働条件・職場環境

1　労働条件・職場環境改善の取組について

- 改善に取り組んでいる・予定していると回答したのは122施設（92%）
- 取り組み内容の上位は「賃金水準引き上げ、手当充実」「業務量・残業削減」「有給休暇取得率向上」であり、昨年度と同じ項目であった。



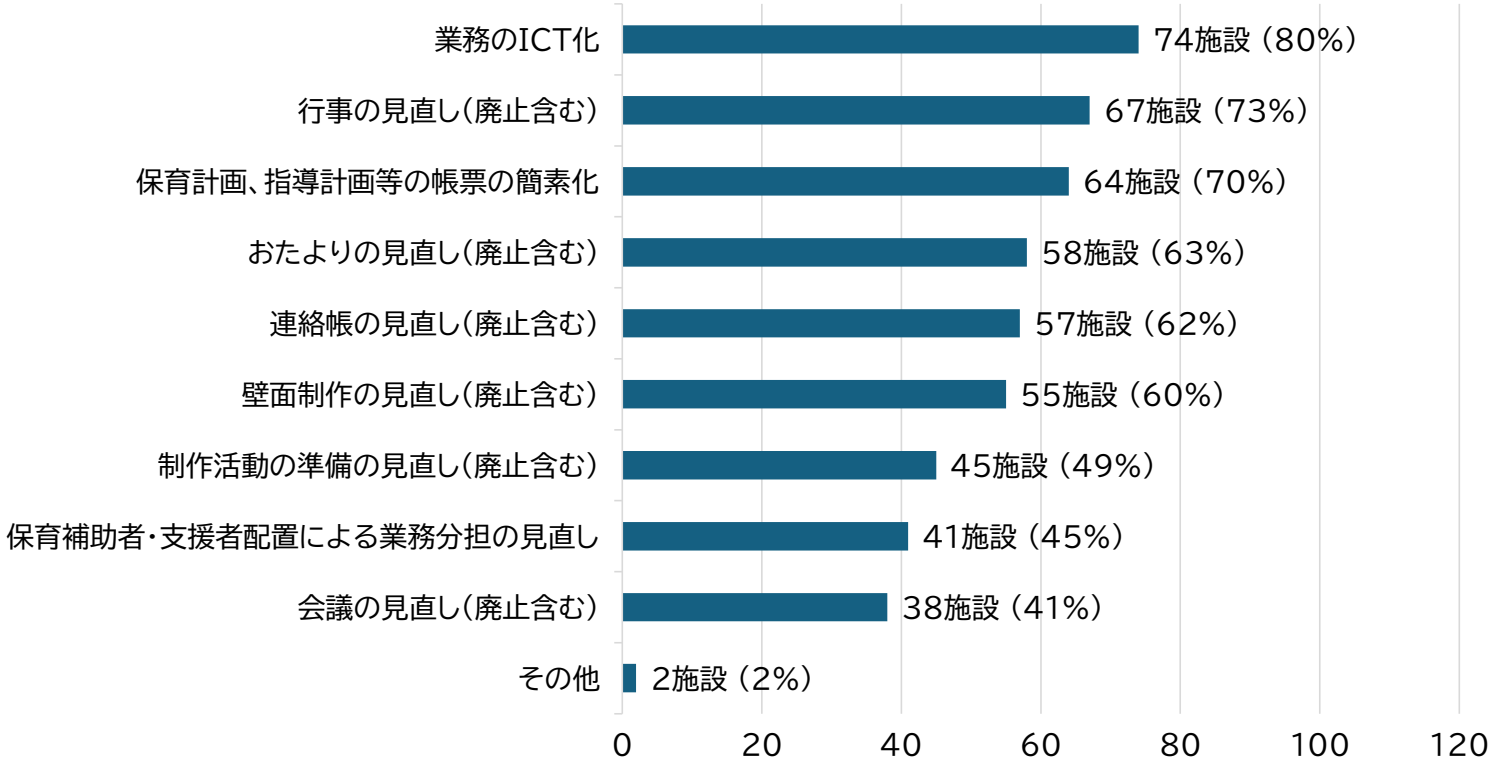


© 2026 Saga Prefecture

Ⅴ　労働条件・職場環境

2　業務量削減のための実施事項

- 上位3つの実施事項は昨年度同様「業務のICT化」「行事の見直し」「帳票の簡素化」であった

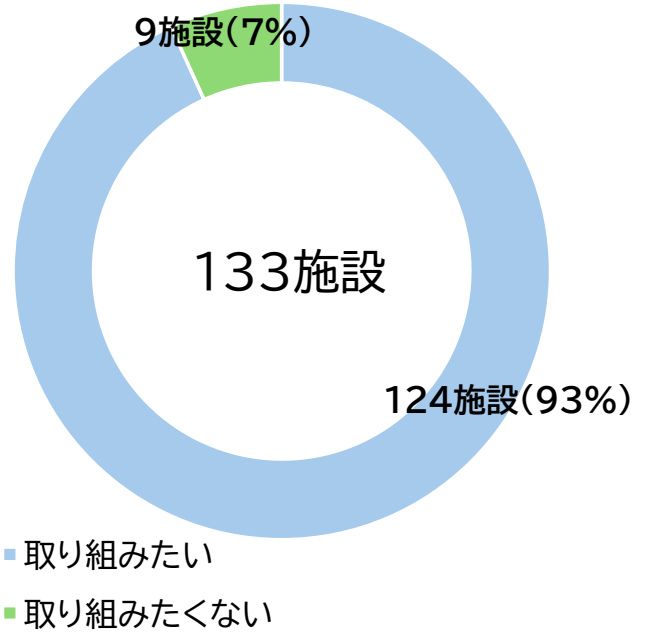


© 2026 Saga Prefecture

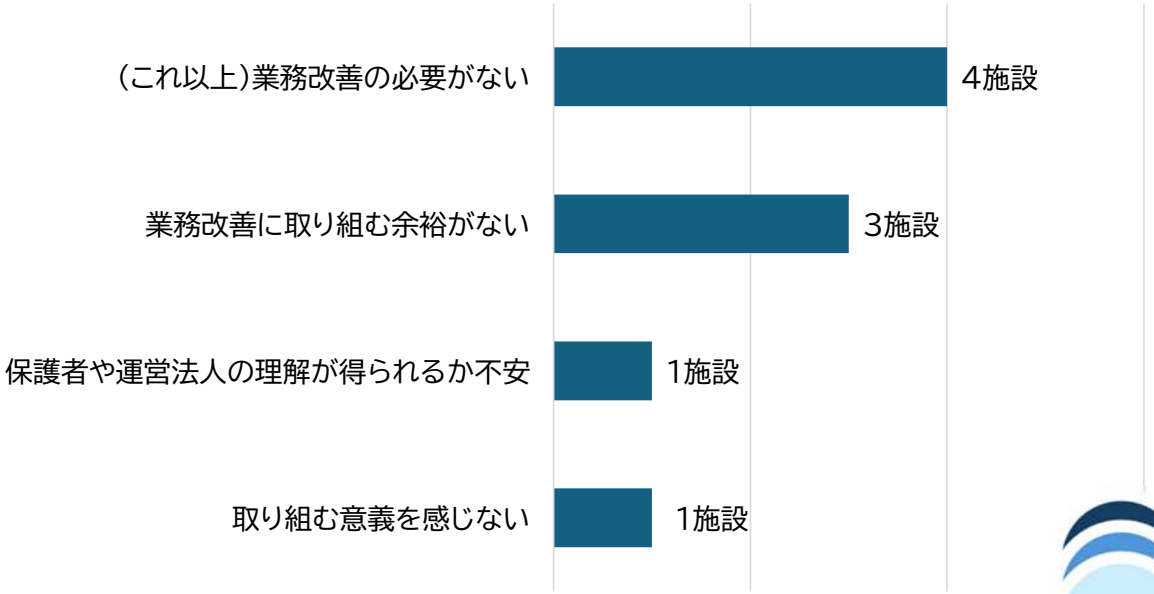
Ⅴ　労働条件・職場環境

3　さらなる労働条件・職場環境改善への取組希望

- さらに改善取組を希望すると回答した施設は124施設（93%）であった
- さらなる改善は希望しないと回答した施設は9施設（7%）であったが、うち4施設は「（これ以上）業務改善の必要がない」との認識であった



取り組みたくないと回答した施設の意見

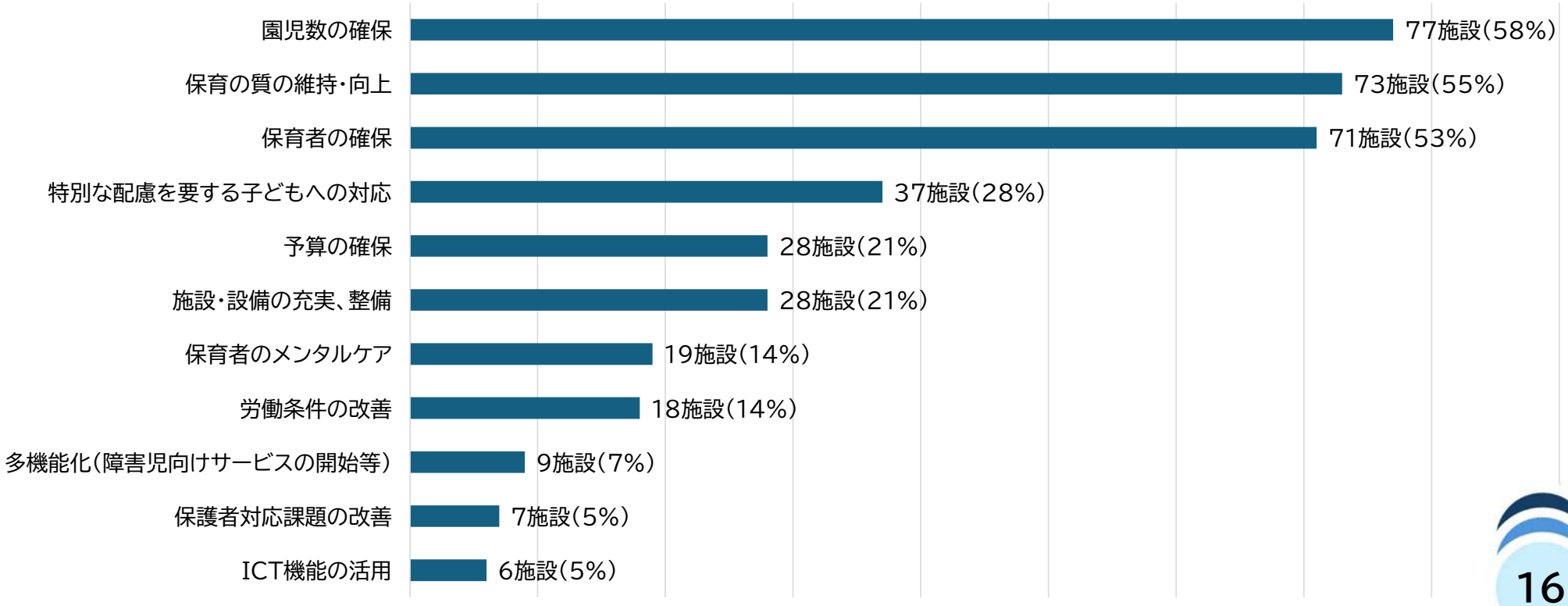


© 2026 Saga Prefecture

Ⅴ　労働条件・職場環境

4　施設運営にあたっての重要課題

- 重要な課題と感じている上位事項は、「園児数の確保」「保育の質の維持・向上」「保育者の確保」であり、R7調査と同様であった

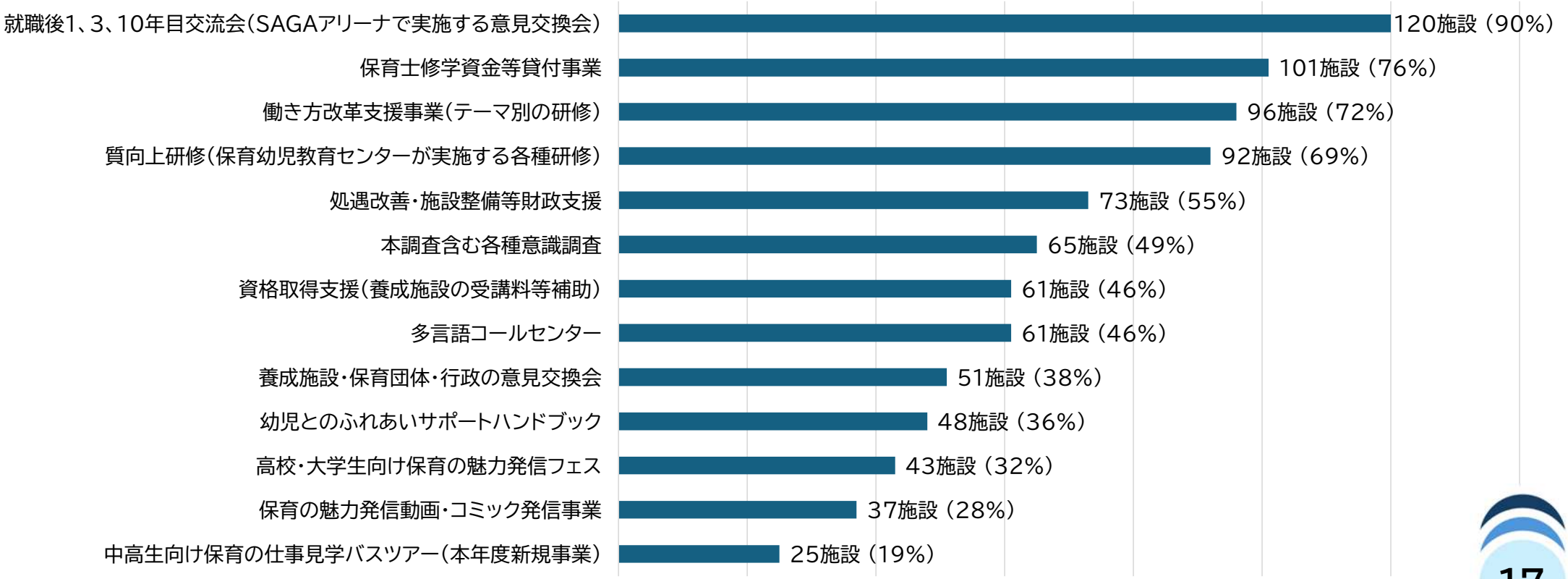


© 2026 Saga Prefecture

Ⅵ　佐賀県実施事業

佐賀県実施事業の認知度

- 認知度が高い事項は、「就職後1、3、10年目応援事業」「保育士修学資金等貸付事業」「働き方改革支援事業」であった。



© 2026 Saga Prefecture